

福島県立岩瀬農業高等学校・株式会社八芳園 (福島県岩瀬郡鏡石町・東京都港区)

GLOBALG.A.P.

2018年取得(米、りんご、バジル、みずな、きゅうり、レタス)

2019年取得(ばれいしょ、だいこん、メロン、かんしょ、なし)

2020年取得(トマト、えだまめ、ルッコラ、らっかせい、大豆、小豆、ぶどう)

JGAP 2020年取得(乳用牛・生乳、肉用牛、採卵鶏・鶏卵)

産学連携の取組

- 2019年に産学連携協定を締結し、相互の人材育成に向けた取組を推進

- 八芳園和食料理長による岩瀬農業高校食品科学科生徒に向けた料理教室の開催
- 八芳園スタッフの岩瀬農業高校での稲刈り体験等

<岩瀬農業高等学校>

・構成員：731名 ・面積：42ha

・飼養頭数：乳牛19頭、和牛7頭、鶏612羽

<株式会社 八芳園>

・庭園のあるレストラン、結婚式場を経営



岩瀬農業高校と八芳園の連携

▼GAPに取組んだきっかけ

- 東日本大震災後8年が経過した2018年の海外研修の際に、海外の学生が福島県産農産物への不安を感じていたことにショックを受け、風評の払拭には、しっかりとした生産体制の構築と客観的な証明が必要と実感し、全校をあげての認証取得への挑戦を決意
- 初年度は県GAP推進員等の指導を受けて認証取得、2020年度は県家畜衛生保健所や農業改良普及所の指導を受け畜産物の認証取得

▼GAPの継続に向けた取組

- 詳細なマニュアルと農場での表示等によって、毎年変わる生徒への農場管理手法を継承
- 教員のみならず生徒のリスク低減に係る意識が向上し、労働安全性を確保



GLOBALG.A.P.の公開審査



畜産GAP取得に向け指導の様子

▼GAPの取組と効果

【資材等の管理の一元化】

学科ごとに実施していた資材等の管理を一元化することで、必要以上の資材発注を削減

【教育効果】

GAPの実践によって、生徒が自主的に行動するようになり、教育効果が向上

【魅力的な教育プログラムの実践】

GAPの強みを活かした商品開発や海外進出に向けた取組など、魅力的な教育プログラムを実践

【パートナーとの連携による効果】

パートナーである八芳園から、GAP認証農産物を活用した料理や商品化の指導を受け、生徒の企画力向上、併せて、八芳園社員の理解促進が図られ、実需者とのマッチング機会が増加



産学連携による実需者との各種交流・協力によって、商品開発等の見識をもった生産側の人材育成を図っている他の教育機関の参考となる優良事例